

新庁舎建設特別委員会の概要（第9回）

- 1 日 時 令和元年11月8日（金） 9時00分～10時26分
- 2 場 所 第1議会委員会室
- 3 出 席 全委員
- 4 内 容 1 新庁舎の整備について
2 その他

配布資料

- ① 美濃太田駅周辺 整備イメージ
- ② 美濃太田駅周辺 将来構想イメージ
- ③ 前平公園 造成図&断面図
- ④ 前平公園 航空写真&造成図
- ⑤ 前平公園再整備基本構想（東エリア）イメージ図
- ⑥ 新しい市役所をいかしたまちづくりイメージ図

- 議会から要望した「前平公園周辺候補地の造成」及び「美濃太田駅周辺の市の考え方」について、執行部から資料が提示され説明を受けた。

<前平公園周辺候補地の造成について>

- 進入路について、西側の西町作り洞線から通るものを計画した。
- 計画地盤高が標高95メートル（有効面積：約1万2,000㎡、造成費：約5億6,000万円）の場合と標高90メートル（有効面積：約1万9,000㎡、造成費：約14億5,000万円）の場合の図面を作成した。なお、造成費には、地盤改良のためのパイルや区域外の雨水排水などの費用は入っていない。
- メリット
 - ・市有地のため買収の必要がない。
 - ・浸水のおそれがない。
 - ・前平公園との一体利用が可能である。
- デメリット
 - ・進入路が1本だけのため、進入路が崩れると使用ができなくなることからもう1本抜け道が必要となり、さらに工事が必要である。
 - ・盛り土が必要であり、その箇所は崩れる可能性もある。
- 前平公園の上空をドローンで撮影した動画をもとに説明を受けた。

<美濃太田駅周辺将来構想について>

- 美濃太田駅南賑わい中心ゾーン、駅南通り賑わい中心ゾーン、太田宿賑わい中心ゾーンの3つを軸として、エリア全体で賑わいを創出する計画である。

<新しい市役所をいかしたまちづくりイメージについて>

- 駅の南側を中心として、どういうイメージでまちづくりを進めていくのかというものをイメージ図にしたものである。
- 駅の南側については、東エリアだけでなく、西エリアも一体とした官民連携について十分検討していく。

【委員会で出た主な意見】

- 美濃太田駅の北側は基本構想に入っていないが、今後どうしていくのか。
→ 駅の北側の地域は区画整理も行われている。住宅が密集しており、良好な環境となっており、住居エリアとして住んでいただけるような環境をそのまま残していく。
- 駅の北側と南側の人のアクセスが少し弱いと感じるが、対処方法は。
→ 美濃太田駅には自由通路もあり、また駅周辺には田島飛鹿線などの周辺道路が整備されていることから、現状の形でも十分アクセスできると考えている。
- 西町作り洞線は、標高何メートルくらいあるのか。
→ 計画図から入り込む交差点辺りで標高が85メートル程度である。前後の道路が急勾配のため、交差点をつくるだけでなく、安全に通行ができるよう西町作り洞線の北側と南側の道路改良が必要である。
- 前平公園の造成高を標高90メートルとした場合、西町作り洞線と比べると5メートルの高低差しかないが。
→ 前平公園の市有地は、馬の背のような土地となっている。標高100メートルから標高90メートルの高低差をつくるとなると、大量の土砂を搬出して平地をつくっていくイメージである。
- 前平公園周辺の土地の形態を生かして、2段に分けて横長の庁舎を建設する方法も考えられないか。
- どの業者が作成したのか。できれば、もう1つ、2つの案を検討してほしい。
→ 新庁舎整備基本計画の委託先である玉野総合コンサルタント株式会社である。
- 前平の造成費について、切り土に対する土砂の運搬費、外周の擁壁の予算はみてるのか。
→ 運搬費や擁壁などの構造物の予算はみてる。
- 前平の地質調査は行うのか。
→ 必要があれば行う予定である。
- 強度的にも心配され、また莫大な予算が必要となるため、工法を再考していただきたい。

- 土質を調べるとなると、もう少し予算が必要である。雨水渠について調整池までは計画しているが、その先をどこに流すのかを計画するのにもさらにお金がかかる。今の段階ではこの試算となる。
- 資料2の美濃太田駅周辺将来構想は、庁舎なしでは進められない計画なのか。
- 市の政策決定によるが、新庁舎はまちづくりに大きな影響があることから、現在、同時進行で計画を進めている。資料2については、庁舎がこの場所に限定されたという考えではなく、ここに新庁舎を置いた場合にどういう賑わいができるのかを考えているものである。
- 前平公園に建てるとなると、この土地しかないのか。また、前平公園周辺とは、どこまでを指しているのか。
- 市有地である畜産研究所の跡地を指している。
- 調整池の排水先は、まだ計画されていないとのことだったが、加茂川までの排水路は調整池をつくれれば現状のままでいけるのか。また、今後調査をして工事が必要になっていくのか。
- 流末排水は加茂川まで行くと思うが、そこまでの道中を調べて改修しなくてもよい量の調整池をつくるのか、又は改修した方が工事が全体的に安くなるのか、今後比較検討する。
- 調整池を大きくしたりすると、現在示された金額よりも高くなるということか。
- そのとおりである。その金額は見込んでいない。
- 前平の南側のブロックについて、現在示された予算で施工する工法でもつのか。
- 今知りうる限りでは、このブロック積みでもつであろうという考えである。ただし、掘ってみて調査してみたら変更することもあり得る。
- 前平の場合、豪雨により御手洗池の水があふれることはないのか。
- 御手洗池が豪雨であふれるおそれは考えられる。
- 美濃太田駅周辺の場合、防災庁舎はどうするのか。
- 防災庁舎については、次回までに資料を出させていただく。

【まとめ】

- 次回は、本日意見のあった「防災庁舎のあり方」などの資料を執行部から提出してもらい議論することを確認し、委員会を閉会した。